

本社がある兵庫県西播磨地区は素麺の産業がさかんです。今回は夏の風物詩でもあるそうめん流しを手軽に味わうことができる「そうめん流し器」をご紹介します。

当社のそうめん流し器は水流式で、給水ホースを水道に接続するだけで、すぐに使用できます。また水路と流し台は取り外しができ、洗浄が簡単におこなえます。テーブルの脚は折りたたみ式で収納場所も取りません。5人がゆったりと食べられる大型テーブルです。ご家族やお友達と一緒に「そうめん流し」はいかがでしょう？

今回は今年当社の「そうめん流し器」を導入していただきました茨城県の「フィッシングパークつくば園」様をご紹介します。つくば園様は筑波山にあるバーベキュー場として広く親しまれ、これまで多くの方がご来園されています。広大な敷地には季節の植物や生き物達などの自然に囲まれ、ニジマスのエリアフィッシング、沢でのつかみ取り等のレ

ジャーを楽しむことができます。今回その中に当社の「そうめん流し器」も加えていただき7月より「流水そうめん」をはじめられています。

山盛りの水をそうめんと一緒に流すという抜群のアイデアで見た目も涼しくお腹も満足！暑かった夏を一気にふきとばしてくれています。お近くにお住まいの方、またはご興味がおありの方はぜひ一度足を運ばれてはいかがでしょうか？

今回ご紹介しました商品にご興味がおありの方は(個人でも販売可能です！)お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先
食品機器事業部 TEL 0791-62-9205

フィッシングパークつくば園
茨城県石岡市小幡2119-33
TEL 0299-42-4003



私の座右の銘

「念ずれば通ず」

管理本部 人事部
部長 石井 康啓



私の座右の銘は「念ずれば通ず」です。

私は入社以来30年以上営業の仕事に携わってきました。営業の現場では目標達成までに、さまざまな困難や予期せぬ問題に直面することが度々ありました。そのときに、この言葉信じ強い信念を持ち続けて「どうすればこの問題を解決できるだろうか」「何をすれば目標を達成できるだろう

か」と決してあきらめずに行動することで道が開けるということを経験してきました。

私は1年前から人事部長として新たなチャレンジをはじめました。営業とは違うフィールドですが社員一人ひとりの成長を支援するという点では共通している部分が多いと感じています。これまでの経験を活かしながら社員が自分の目標に向かって努力できる環境を整えることで社員と会社ももっと強くなれると信じています。

「念ずれば通ず」という言葉を信じ、その環境造りを実現させたいと考えています。

これからも、この言葉を心の支えにしながら、仕事も私生活も新たな挑戦に取り組んでいきたいと思っています。

赤とんぼ

伸びしろ

畳事業部 企画部 部長 藤本 浩

“伸びしろ”とは、現在の状況や能力から未来に向けて成長・発展する可能性を指します。人や組織、さらには商品やサービスなど、さまざまなものにはそれぞれ伸びしろが存在します。伸びしろは、5つの重要なポイントがあります。

1. 目標設定 明確な目標を持つことで具体的な方向性や進捗の把握ができます。
2. 学習とスキルの習得 学ぶことで能力を向上させ新たなチャレンジに挑む準備ができます。
3. 挑戦と失敗の対処 失敗や困難があっても、学びの機

会ととらえ、次に生かすことも必要です。

4. 着実な行動 計画を立て、実行することで成長への道を切り開くことができます。
5. 持続的な向上 持続的に努力し、継続的に自己や組織を向上させることが重要です。

当社は、10月より77期のスタートです。自分自身、組織や、変化に柔軟に対応し、新たなチャンスを見つけ出し、成長を遂げていきたいです。



今月の表紙

今月の表紙は、8月19日に発売された新型自動壁紙糊付機「Hiβ-ATHLEAD X」生産の様子です。

当社社名変更から1年が過ぎ、続々とKLASSブランド商品が発売されています。今後ともKLASS商品をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



to

2024 10 vol.584

- ・変わらないことを願う街
- ・糊自動攪拌供給機「NEWプラス1 IRON」(インテリア)
- ・曲針式両返縫機「SWING REVO」(畳)
- ・導入事例 有限会社村山畳店様

- ・そうめん流し器のご紹介(食品機器)
- ・座右の銘「念ずれば通ず」
- ・赤とんぼ「伸びしろ」



心 変わらないことを 言 願う街



唯一残っていたウィーン旧市街
グラーベン通りのレコード屋
(現：CDショップ)

代表取締役社長
頃安 雅樹

勤続30年の記念休暇を利用して、夫婦で一週間ウィーンに旅行してきた。38年前(1986~87年)の一年間、ウィーンの国際原子力機関(IAEA)に勤務し、2歳の長男ともども3人で住まいたことがあるため、ウィーンは私にとっては「第二の故郷」であり、海外に行くとき優先で訪れたい街である。

日頃会社では、「コロナを機に生じた変化には『元に戻る変化』と『決して元に戻らない変化』とがあるが、両者を峻別の上、後者をいち早く実行すべし！」と唱えているくせに、ことウィーンに関しては真逆で、当時の記憶にある情景が「いつまでも変わらないでほしい」と願っている自分に気付いて、思わず苦笑いしている。旧市街の王宮や、国会議事堂、市庁舎等の多くの建造物、市の中心にそびえるシュテファン教会等は変わらぬ姿で迎えてくれたが、例えば以下のような変化を実感した。

レコード屋：38年前はレコード全盛の時代であり(CDの発売は1982年)、クラシック音楽好きの私は、週末には必ず旧市街のレコード屋に立ち寄ってオペラ等のレコードを買い求めたものである。当時の情景は今でも夢に出てくるが、音楽の楽しみ方がCDからダウンロード方式、更にストリーミング方式に変わりつつある中、心当たりのレコード屋数店をすべて回ってみたが、たった1店しか残っていなかった。もっとも日本でも事情は同じであって、「変わらずにあってほしい」と願うことの方が無理なのであろうか。

両替：かつては「両替」は海外に来たことを最初に実感できる行為であった。EUの成立に伴う通貨統合により、2002年1月からすでにヨーロッパの広域でユーロ紙幣と硬貨が使われていること、また世界的なカード決済の進歩により、両替の

必要性が激減していること…この二つの大きな変化は十分理解していたものの、今回の旅行では、昨今の円安のデメリットを防ぐために、以前より所持していた米ドルを持参して現地ユーロに両替する方針で臨んだ。以前の常識では、銀行→市中の両替屋→ホテルの順で両替の率が悪くなっていったが、今回宿泊したホテルで聞いてみると、「銀行での両替はオーストリアの銀行口座を持っていないとできない。市中の両替屋よりはむしろホテルの方が率がいい。」とのことであった。結局円安のデメリットを防ごうと画策した「ドルからユーロへの現地両替策」は、率の悪さによってメリットが帳消しとなってしまった。

以上、今回の「昔の記憶の上書き保存の旅」は、かなりの変化・修正を伴うものとなった次第である。

インテリア事業部 製品紹介

作業をもっと快適に!

糊自動攪拌供給機「NEWプラス1IRON」

インテリア事業部
主任 山家 裕介

希釈タイプの壁紙施工用接着剤の攪拌・供給作業を省力化した当社の糊自動攪拌供給機「プラス1」シリーズは発売以来、「一度使ったらやめられない!」や「時間効率があるだけでなく、体も楽!」と大変好評で、多くの皆様に便利さを実感いただいています。今月はプラス1シリーズの最新モデル「NEWプラス1IRON/アイアン」をご紹介します。

《快適かんたん操作》

ワンタッチ操作で攪拌・ポンプ・OFFの切替が可能です。また糊供給のON/OFFが手で操作できる専用ハンドスイッチや足元で操作できる専用フットスイッチはピンジャックを差し込むだけの簡単接続です。
※専用スイッチはオプションです。

《糊付機への連動供給》

連動供給機能付きの自動壁紙糊付機と接続することで、糊補給警告機能と連動し、糊箱を引き出すことなく糊を自動で供給することができます。糊付作業中に糊切れすることなく、安心して作業に集中することができます。

ユーザー様からは、「1日30分程度の時間短縮ができていると感じています!」や「一度、つないで使うと便利で手放せません!」との声をいただいています。

またYouTube動画で、便利さが分かるプラス1とドリル攪拌の比較動画を公開中です。右記二次元コードよりアクセスいただきご覧ください。

ぜひこの機会に、NEWプラス1IRONの販売あるいは導入をご検討くださいますようお願い申し上げます。



畳事業部 新商品紹介

薄畳・縁無対応! 自動切り欠き縫着・縫い高さ自動調整機能搭載! 曲針式両返縫機「SWING REVO」

畳事業部
担当課長代理 谷口 靖典

現在の住宅において、畳は単なる伝統的な床材ではなく、快適さ、健康、デザイン性、そして文化的価値を兼ね備えた重要要素として位置付けられています。これにより、畳の需要は今も根強く、さまざまな形で住宅に取り入れられ続けています。

このたび、その多種多様な畳製造に対応できる「曲針式両返縫機 SWING REVO」が完成しましたので、ご紹介いたします。

①自動切り欠き縫着

切り欠き畳の切欠き部分を検知し効率的に縫着することができます。

②縫い高さ・縫い深さ自動調整機能

製造する畳の厚みを自動検知することでミシンの針の高さ調整が不要になりました。また、縫い高さに合わせて縫い深さが自動的に変動しますので、縫い高さに応じて縫い深さを調整する手間が不要になりました。

③4種類の縫着可能

チドリ縫い・ハシゴ縫い・変則チドリ縫い・新ハシゴ縫いの4種類の縫いパターンが選べます。

④針高さ38mmまで縫着可能

針高さが底面から38mmまで対応可能となり、厚い畳や縁無などでも通常通り縫着できます。

⑤かんたんオペレーション

カラータッチパネルでかんたん操作。運転状態をパネルに表示。異常があればパネルに表示されるので、一目でわかります。

製品仕様

【機械寸法】 長さ3,400×幅2,450×高さ1,900mm

【縫い方式】 チドリ縫い・ハシゴ縫い
変則チドリ縫い・新ハシゴ縫い

【針高さ】 7~38mm

【縫着可能畳寸法(仕上り)】

幅 : 2尺2寸~3尺3寸

長さ: 2尺4寸~6尺7寸

畳厚: 13mm~65mm

【使用電力】 3相 200V 1.7kW

ご興味ある方は、営業担当または畳事業部(TEL0791-62-1772)までお問い合わせをお願いいたします。



最新機種導入で作業効率が 格段にアップ!

岩手県盛岡市 有限会社村山畳店様

畳店様紹介

岩手県の県庁所在地、盛岡市(人口28万人、世帯数13万2千人)にある(有)村山畳店様は、創業1952年で、創業から70年を超え地元に着した畳店様です。3代目の現代表取締役 村山義幸様、専務の4代目 村山茂様を中心に一般の掘起し、工務店・ハウスメーカー等、さまざまな仕事をされており。畳以外では襖、障子、網戸の張替えを自社で施工され多角化をはかられております。

機械導入のきっかけ

1992年から1993年にかけて畳製造の拡大のため、「コンパクトライン」を導入していただき、当社とのお取引が始まりました。その後は順調に売上を拡大され、昨今の多様化する畳に対応するために、2021年8月に「両平刺機 MASTER II」と「両返縫機 SWING PLUS II」、2024年8月に「両框裁断機 WIN II」を導入していただきました。

気に入っていただいている点

(有)村山畳店様は、工務店・ハウスメーカーとのお取引が多く、さまざまな畳への対応が必要になります。へり無畳の製造で、畳床の裁断工程が大変でかなりの時間を要していましたが、今年導入していただいた「両框裁断機 WIN II」は、チップソーによる裁断で寸法精度が上がり、畳床の種類に合わせて、1厘単位で細かく寸法を調整す

ことができ、作業時間が大幅に改善されたと言われております。また、「両平刺機 MASTER II」は新畳、表替え、縁無モードの切替がボタン一つでおこなえるので、細かい仕事内容でも煩わしさがなく、非常に便利だと喜んでいただいております。

今後とも機械メーカーとして、(有)村山畳店様をご支援いたします。このたびはお忙しいところ、取材にご協力いただき、ありがとうございます。(有)村山畳店様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

導入製品の紹介

両框裁断機チップソー WIN II

品番: E1-1217
価格: オープン



畳事業部 主任 畠山 高志